



日本共産党文京区議会議員  
まんだち幹夫通信  
2008年 夏号

ホームページ: http://www.jcp-bunkiyokugidan.gr.jp/

# "みなさんをいつもまんやかに"

■区議団控室：5803-1317 (直通)

■自宅：Tel・Fax 3814-3935

メール：mandachi@jcp-bunkiyokugidan.gr.jp

学校つぶし 大規模化  
教育の格差……

区立小中学校の将来ビジョン(素案)の

## 教育「学校統廃合計画」が 廃案!

### 礪川・柳町・指ヶ谷小の統合、誠之小「第二校舎」も白紙!

2年前に打ち出された「学校統廃合計画」。学校関係者・区民から「見直し、撤回」の世論が高まっていたが、ついに6月3日、「廃案」となりました。まんだち幹夫区議は6月11日の区議会本会議で冒頭にこの問題を取り上げ、「小中学校の将来ビジョン(素案)」そのものの見直し、再検討をもとめました。また、少人数学級の実施と、施設改修も要望しました。



区議会本会議で代表質問をする  
まんだち幹夫区議会議員(6月11日)

## 教育の街 愛知県 犬山市では……

実際に見てきました!

### 市独自に1クラス 上限を32名に



4月下旬、愛知県犬山市を訪問、教育現場を視察して市がすすめる「教育改革」を学ぶことができました。学級人数の上限を32人とし、そのため市独自に一億数千万円の予算をつけて常勤の教師を配置しています。さらに「少人数指導」を取り入れきめ細かい授業を実施。教育委員会は学校の先生の意向を最大限に尊重しているとのこと。保護者、学校、教育委員会の連携で子どもの成長をはっていることが大事です。

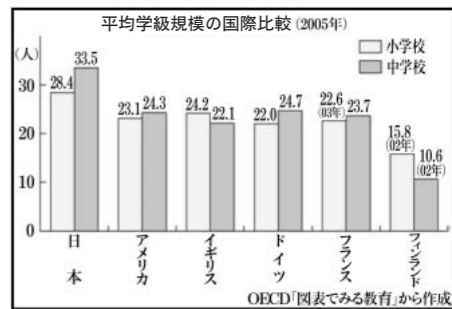
### 唯一、「学力テスト」に参加しない自治体

そのため犬山市は、昨年から実施されている「全国いっせい学力テスト」に参加していません。これまで培ってきた教育が、「学力テスト」で逆に壊れてしまうという理由からです。市の教育委員会は、教育にも競争と格差をもちこむと正面から政府を批判し、勇気ある実践をしています。文京区では「学力テスト」に参加するかどうかの議論さえしていないというのに。

## 教育の向上をめざすなら 文教委員会の質問で 取り上げました

### 1クラス人数をもっと少なくする 「少人数学級」にまず踏み出すこと!

毎議会ごと提出される区民請願に「30人学級の実施」があります。区も与党も少人数学習による指導をしているので国や都に要請することも区独自に実施することも考えていないとの立場です。しかしこれは問題のすり替え、東京都をのぞく46道府県ではすでに実施をしています。「欧州で『日本の小学校は平均28人学級だ』と話す」と「それで教育でいいのか」と驚かれます。『教育は対話を通じた相互活動。一クラス20



人程度が限度」というのが、欧州では常識なのです」と、都留文科大の佐藤隆教授は指摘します。「学校規模」の大小の問題よりも、学力向上にも生活指導にとっても、学級のサイズを見直すことが必要になっていきます。

### 学校施設改修も 待ったなし!

「統廃合計画」優先で 放置されたままに

5月におこなった区立中学校の施設調査、あらためて改修の緊急性を感じました。左上の写真は三中体育館の配電盤です。「スイッチに触れないでください」との張り紙が。下写真は六中校舎の南側部分。地面との間に大きな亀裂が走っています。「統廃合計画」によって中断されていた耐震工事や改修を即効実施することを求めました。

## くらし

### 原油高騰・高物価から くらし・営業守る支援を

引き続き広がる「貧困と格差」…ワーキングプア人口もさらに増え、年収二〇〇万円以下の給与所得者はついに一千万人を超えました。その上に最近の原油・穀物市場の高騰を受け、家計にも営業にも大きな影響が出ています。自治体としても渋谷区ではクリーニング店に、足立区では公衆浴場に原油高騰対策として独自の補助

おひとりでも悩まず  
ご相談ください!

### 法律・生活相談会

毎月、「まんだち幹夫事務所」にて、地元弁護士の協力を得て開催しています。お気軽にご相談ください。

文京区小石川2-23-7  
電話 3868-8355  
または、  
日本共産党区議団控室へ

## 後期高齢者

### 「後期高齢者医療制度の廃止を国にもとめよ」 「(国の制度見直しの検討)その推移を見守りたい」

まんだち 区議長

75歳以上の方々からの保険料の天引き・負担増、診療の制限への不安など、4月の制度実施以来、文京区役所にはこれまでに6千数百件の問い合わせがきています。国会では野党4党による「廃止法案」は、参議院での可決を経て、次期臨時国会に継続審議となっています。議会では、「これま

で『円滑な導入を図り…』としていた区の立場は変わりないのか、国に廃止を求める意見を上げるべきではないか」と質問しました。しかし区長は、「推移を見守りたい」との回答にとどめました。



「廃止法案に賛成? 反対?」のシール投票=6月10日

## 「保育の質」をまもり 安心して働く待遇改善 区としての支援を

区内の「認証保育園」を初めて訪問しました。「定員いっぱいになって採算が取れるかギリギリの状況です。東京都と区からの補助金の上乗せが必要で、子どもの年齢に応じた補助金が、0歳と1歳とでは極端に違うので改善してほしいなどの要望を伺いました。自治体の支援は、現場でがんばるみなさんの雇用問題にもつながる大事な問題です。



◆5月30日 週刊「まんだち通信」が100号に。毎週発行し、「赤旗日曜版」に折り込むなどして区議会の様子を伝えてきました。今年からはホームページでも見られるようにしています。

◆6月7日 青年のみなさんと後楽園駅で「労働実態アンケート」をとりました。駅前では参議院で「廃止法案」が可決、さらに臨時国会でも衆院で継続審議となっているのに、区議会では民主クラブは態度を「保留」とのことでした。党内でねじれ?との声もあがりました。

◆6月16日 区議会防災委員会。午後には神田川上流の善福寺川取水場を視察。環七地下に巨大なトンネルを掘り、大雨の際一時的に水をそこに溜め込みます。長年の水害対策が実りました。

◆6月18日 厚生委員会のなかで「後期高齢者医療制度の廃止を国に求める請願」が審議。国会では参議院で「廃止法案」が可決、さらに臨時国会でも衆院で継続審議となっているのに、区議会では民主クラブは態度を「保留」とのことでした。党内でねじれ?との声もあがりました。

## まんだち通信 日誌